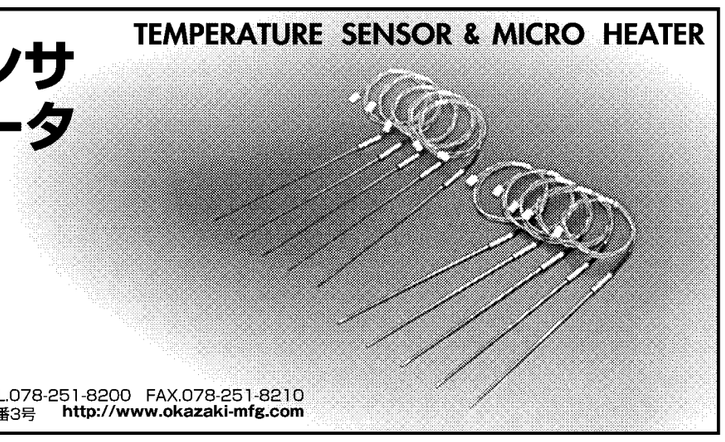
燃料電池用温度センサ
マイクロヒータ

TEMPERATURE SENSOR & MICRO HEATER



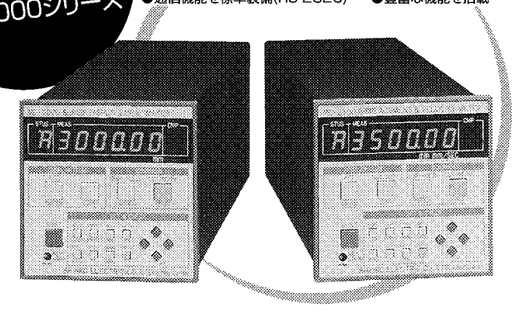
家庭用燃料電池向
改質器用シース型
温度センサ　外径φ0.08mmから
マイクロヒータ　外径φ1.6mmから
●高温耐久性　●高圧耐久性
●特殊シース材質採用　●特殊エレメント採用

OKAZAKI 株式会社 岡崎製作所
本社　お問い合わせ：TEL.078-251-8200　FAX.078-251-8210
神戸市中央区御幸通3丁目1番3号　http://www.okazaki-mfg.com

http://www.shinkodenki.co.jp

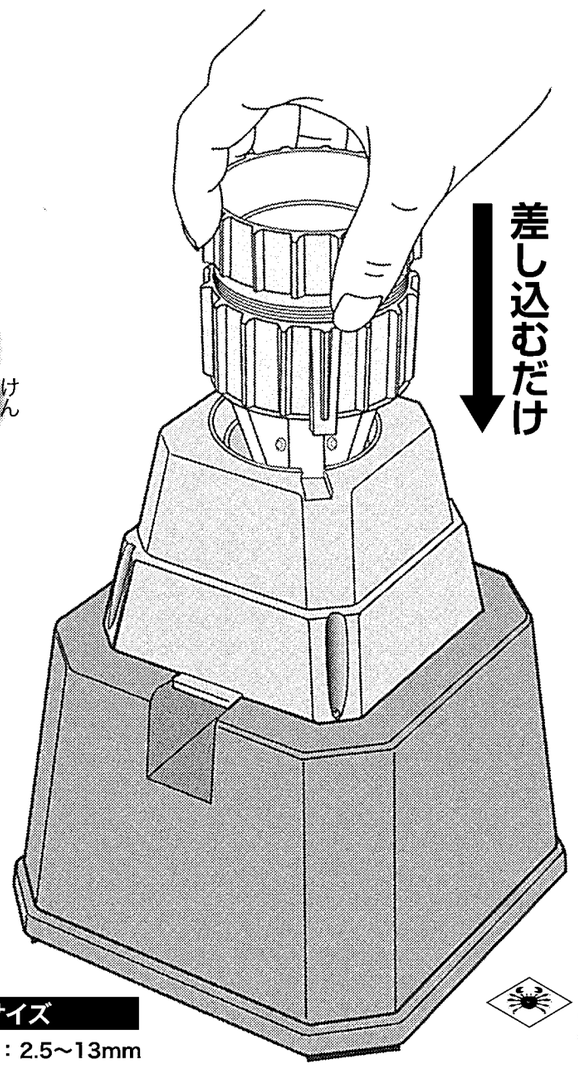
新製品
アンプ内蔵型
変位センサー
DL1シリーズ
本器とDC電源だけで
変位計測ができます
●高分解能・長寿命
●幅広い電源電圧で動作します
●SUS材(一部を除く)を採用
●変位と出力がキャリブレーションされています
●スプリングリターン型センサもラインナップ

変位計
MD3000シリーズ
技術と実績が生み出した
プログレッシブ変位計
●MD3500は速度検出機能をプラス　●操作は簡単
●通信機能を標準装備(RS-232C)　●豊富な機能を搭載



差動変圧器と変位計でメカトロニクス時代を担う
新光電機株式会社
営業部　〒651-2271　神戸市西区高塚台3-1-55
☎(078)992-0671㈹　FAX(078)992-0506
東京支店　〒103-0022　東京都中央区日本橋室町4-3-15　☎(03)3270-5488㈹
大阪営業所　〒560-0871　大阪府豊中市東寺内町10-6　☎(06)6339-1751㈹
明石支店　〒673-0016　明石市松の内2-6-8　☎(078)929-1251㈹
製造部　〒651-2271　神戸市西区高塚台3-1-55　☎(078)991-2631㈹

ドリ研(けん)
鉄工ドリル研磨機
研磨可能サイズ
鉄工用ストレートドリル：2.5～13mm



差し込むだけ

新品の切れ味

■操作が簡単
■精度が高い
●刃先角118度が正確に研磨できます。
●正確な穴があきます。
■低価格
●低価格で高品質。

ニシガキ工業株式会社
〒673-0404 兵庫県三木市大村500番地 TEL.0794-82-1000 FAX.0794-82-4844
http://www.ni-co.jp

モノづくり支援拠点続々と

兵庫県は製造品出荷額が全国5位、製造事業所数が全国6位（2008年時点）と日本有数のモノづくり県。これを支えるためにモノづくりを支援するさまざまな拠点が整備されている。2011年4月には兵庫県が「ものづくり大学校（仮称）」を開校する。モノづくり人材育成の新拠点が誕生する。昨年11月には神戸市がロボット開発の支援拠点とする「神戸ロボット工房」が開設した。これら支援拠点を活用して技術力向上や新分野開拓の成果が期待される。

兵庫・神戸 産業界

ものづくり大学校4月開校

人材育成の新拠点
在職者の技能向上も支援

兵庫県

兵庫県は4月、姫路市市之郷に「ものづくり大学校」を開校する。既存の県立姫路高等技術専門学院を移転するのに合わせて機能を拡充し、大学校の名称を冠して装いも新たに整備する。敷地面積は6700平方㍍で、ここに6階建ての教室棟と4階建ての実習棟を設置する。12年には別途5階建ての体験施設も建設する計画。

土地は姫路市から無償提供されており、建物・施設の総事業費は47億円。JR姫路駅から線路沿い東に1・9㌔㍍に位置するが、JR西日本が近隣に新駅の設置を検討しており、実現すれば交通の便も大幅に向上する見込みだ。

ものづくり大学校の実習施設

ものづくり大学校の機能は①企業が求めるものづくり分野、建築分野の人材育成②企業に在職する技術者の技能向上支援③伝統的なモノづくりを担う匠（たくみ）の後継者育成と大きく3つの役割がある。

通常の職業能力開発校は主に就職機会の創出を目指し、新卒および求職者の技能訓練に重点を置いているが、ここでは「企業内での技能伝承が困難となっていることを踏まえ、在職者の技能向上にも重点を置く」（大裏篤兵庫県ものづくり教育参事）という。

ものづくり人材の育成では期間が1年の専科コースとして溶接、金属塗装、機械加工、CAD／CAMなど6コースを用意した。別に基礎コースや短期コースも設け、基礎コースから専科コースへと進み、合計2年間かけて技能を習得することもできる。現在、第一期生を募集中で、4月の開校時には155人がここで学ぶ予定だ。

企業在職者の技能向上支援では、新入社員を対象とした「ものづくり技能基礎講座」や中堅技能者を対象とした「同応用講座」、資格取得を目指す「資格試験対策講座」などを提供する。いずれの講座もあらかじめ県内企業に要望を調査し、ニーズに合致したカリキュラムを作成している。

また、12年には新たな施設として学生にモノづくりへの関心を持ってもらうことを目的とした体験施設も整備する。主に中学生を対象としており、職業としてものづくり分野を意識してもらうことを狙っている。

例えば丸一日かけて機械や道具を使って木工加工や金属加工の作業にあたり、製品にまで仕上げるといった本格的な体験プログラムを提供する。こうした体験施設は全国の職業能力開発施設にはない同大学校だけの機能。開設すれば「年間100校程度を受け入れていく」（同）方針だ。

兵庫県姫路市内に開校予定の「ものづくり大学校」の全景

神戸ロボット工房 開設

中小向け開発環境整備

神戸市

神戸市は神戸市長田区の小学校跡を活用して「神戸ロボット工房」を開設した。神戸市はこれまでも神戸RT（ロボットテクノロジー）構想を掲げ、市内中小企業のロボット開発を支援してきた。ロボット工房はそれをさらに進め、事業化を意識した開発ができる環境を提供する。

工房内には新産業創造研究機構（NIRO）のロボット研究所が移転。企業からのロボット事業に関する技術相談や提携企業の発掘、産学連携のあっせんなど、事業化に必要な一連の支援を提供する。中小企業同士がロボットを共同開発できるようなスペースも設けている。

また、NPO法人国際レスキューシステム研究機構（IRS）が、災害救助ロボットの開発拠点を移転した。ここを拠点に新たなレスキューロボットの実証実験を行うとともに、ロボット事業に必要な人材の育成やビジネスをサポートする拠点としても活用する。

レスキューロボットの実証試験の様子

このほか、工房で子どもたちを対象にしたロボット工作教室も定期的に開催しており、神戸のロボット開発の現状を地域の人々にも認知してもらう取り組みにも力を入れていく。

工技センター機能強化
デザイナー養成後押し

兵庫県

神戸市

兵庫県は神戸市須磨区にある県立工業技術センターの本館棟を建て替える計画を進めている。13年をめどに新研究棟を整備し、センターの機能強化をはかる方針だ。同センターは県内中小企業への技術支援の中核拠点。今後、先端研究開発機器を配備し、高度な開発支援にも対応できるものとする。

また、神戸市は同中央区の旧神戸生糸検査所の建物を活用して「デザイン・クリエイティブセンターKOBE（仮称）」を12年に開設する。

神戸市は「デザイン都市」を掲げており、同センターをデザイン開発やデザイナー人材育成の中核拠点として整備する計画だ。

新原理のノズル技術　マイクロフォッグ　特許7件出願中
ぬれないソフトタッチの霧
工業・医療・生活環境等にご利用ください

弊社サイトで動画をご覧ください
URL: http://www.nozzle-network.co.jp/
ノズルの研究開発＆世界のノズル販売
ノズルネットワーク株式会社
TEL: 0795-73-2300　FAX: 0795-73-2301
E-mail: info@nozzle-network.co.jp/